

大津市小学校体育連盟広報交流部



大津の体育通信「大体（だいたい）通信」では、大津市の先生方が取り組まれた授業や研修の内容を紹介します。体育授業の基本的・専門的なことを知ってもらうための通信です。普段の体育の授業のヒントになればと考えています。

第1号「令和7年度大津市学校体育研究発表大会 事前授業」参観記録

【日 時】2025年6月27日（金）

【授業校】瀬田北小学校 【授業者】西野 幹人先生

【学 年】3年生 【領 域】器械運動 マット運動

【单元名】火影になるってばよ! マット忍者!

火影になるってばよ! マット忍者

忍ランク 一覧

初忍 前方回転移動の術

中忍 前方回転移動の術 後方回転移動の術

上忍 前方回転移動の術 後方回転移動の術 三点逆位の術

仙忍 仙法・前方連続回転移動の術 仙法・後方連続回転移動の術

火影 最終奥義・連続回転逆位の術

マット忍者のおきて

- ・マットは2人以上ではいじ
- ・ローター/ふわき板は2人以上
- ・マットの耳は中にいれる
- ・移動の際は前の人をマットを
- ・おいていけ!

一時間の流れ

- ① あいさつ 場のじんぎ
- ② 準備体操 休養タイム
- ③ めあめの確認
- ④ 忍者タイム
- ⑤ 共有タイム
- ⑥ 試験タイム
- ⑦ まとめふり返し

試験 合格ポイント

初忍 前方回転移動の術

- ① まきびしに当たらずまわるべし (おとがなつてはいけぬ!)
- ② 回転後、両足をそろえてたつべし (手をつかずに!)

中忍 後方回転移動の術

- ① まきびしに当たらずまわるべし (おとがなつてはいけぬ!)
- ② 両足をそろえてたつべし (立ってフラフラしない)

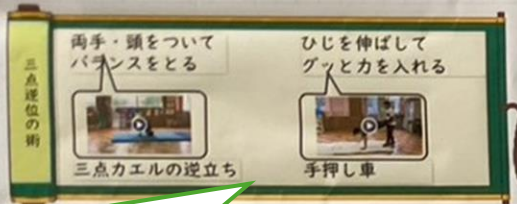
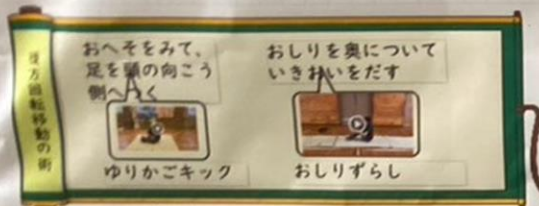
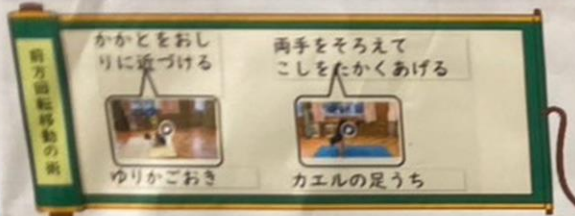
上忍 三点逆位の術

- ① バランスをとるべし (両手・頭でからだをささえる)
- ② 両足を3秒間伸ばすべし (ゴムヒモにあたってから3秒間)

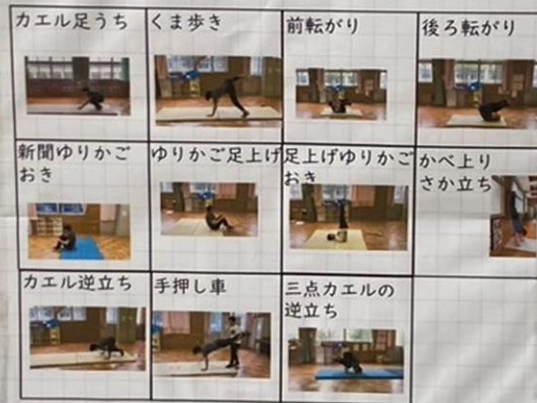
安全指導や一時間の流れなど、これまで学習してきたことを振り返ることができます。

実際に子どもたちが自分たちで、マットの耳を入れていました。

伝の書

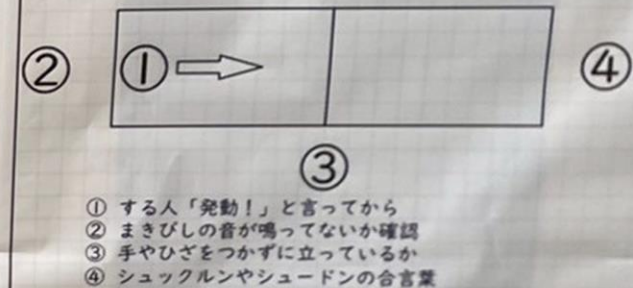


修行タイム

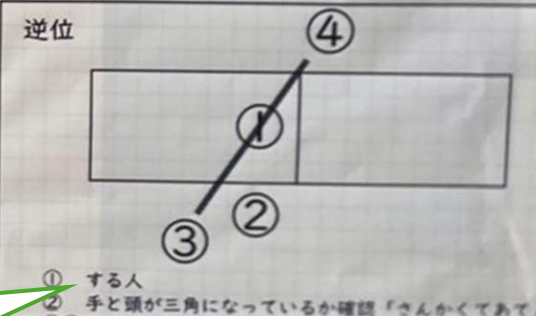


見合いポイント

回転



逆位



前転、後転、三点逆位のポイントを言葉と動画で紹介されています。子どもたちは、この動きを繰り返し、技能を高めていきます。

子どもたち同士で どの位置で、何を見て、どう声をかけるのかを指導されていました。しかし、本授業では「おいしい!」、「あとちょっと!」という抽象的なやりとりが多かったので、「かかと!」、「へそ!」と合言葉を次時で言えるように指導をされる予定です。



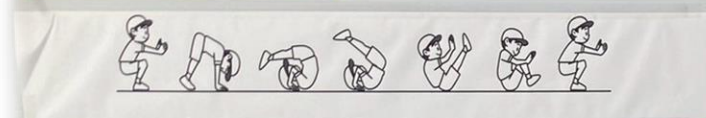
前転がまっすぐ進んでいるかが
視覚的にも感覚的にも分かる教具
です。卵パックをつなげていま
す。本授業は、忍者の世界なの
で、これは「まきびし」です。

実際に見合いっこをしている様
子です。ケンパステップが置い
てあって、どの位置に移動すれ
ば良いかが一目で分かります。



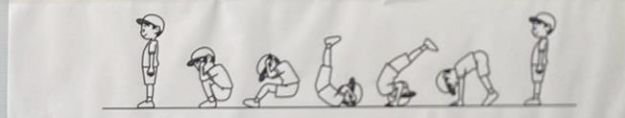
三点逆立で、頭と腰と足を一直線にできるように補助の子どもたちがゴムを持ちます。足がゴムに当たったかどうかを伝えています。

前方回転移動の術



手はパー
両手をそろえる
両足をそろえる
いきおいよく
頭の後ろをつく
手をつかずに立つ
こしを高くする
かかとをおりに
はさむ

後方回転移動の術



シェードン
(おしげん) (おし)
ひざつかずに立つ
両手は肩の高さ
グレン/ノミ

前転、後転、三点逆立の術のポイントもボードにまとめ、子どもたちに示しておられました。グループ内での会話や全体での発表でもこの言葉が出てきていました。

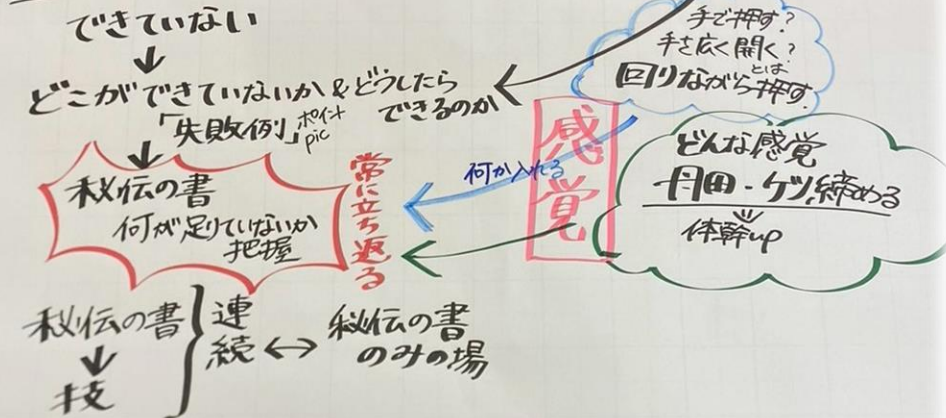
【研究協議会】



次時に活躍予定！！後転で頭を抜かず回転できない子への支援になります。

- ・見合いっこの子どもたちの視点が不明確。→ **合言葉の徹底、視覚的な写真や動画の提示。**
- ・「忍術タイム」と「試験タイム」があいまい。
 - 「忍術タイム」自己の課題解決に向けた活動。「試験タイム」チーム内で技がクリアできたかどうかを見合う活動。
- ・子どもたちの課題に合った場の設定が必要。→ **特に三点逆立の技能習得のために場を増やすことを検討。**
- ・教師の声かけ・問いかけの内容の精選（授業者の困り感）
 - **技能指導を適宜行ったり、技をした子だけではなく、見合いっこで見ていた子に問いかけたりすることで、子どもたちの見る視点が育っていく。**

課題意識の明確化



試験、忍術タイム → うつめの取組は使われている

できなかったことに対して、対策案のアドバイスはできている?

- ・勢いのみ
- ・その他のアドバイスが出てこない
- ・秋伝の書の内容以外に必要なものは

技能の獲得

試験の内容

もっと長い運動時間のがほ

・それぞれの子どもが十分に運動できるポイント (④のグループは、試技していない子がいる)

上にするために、どんな動きが必要か

前転、後転、三点逆位ができる。

⇒ 課題の確認、課題にどう対策の確認
(④⑦は、十分な技能獲得ができていない)

まだわからない? (自分の課題はなんだと言える?)
確認がなかった

課題確認シートが
あれば確認しやすい

④ 子どもの意欲

↑ 問いかけ??

Next

場の設定 (キモ)
課題別、ローテーション
評価のシステム

目標 ① できないことの理解

② 解決方法を理解

③ 試して伸ばす

教師

個々へのかけがわりが少ない

集回数 (多)

タブレット 動きの共有

1on1 (のやりとり)

モデルとなる声かけが必要

指導性 問い

指示があいまい

手づかみ 技

子どもの様子

「おい!」 ← 何故か子どもたちは

→ 共通理解の言語

キーワード「後転は押し」

頭倒立

補助を、手の位置も狙ってる

△壁の練習 (足が伸びる) (腕が伸びる)

技能修得には時間短い。

→ 15分 10分 5分 (10分)

前転

「パー」「シ」「クルンパ」
(10分) (5分) (10分)

後転

「お」「ハ」「クルン」
(10分) (5分) (10分)

自分のレベルが分かっていない

→ ふりまわりグループで

【「目指す姿」の実現に向けた視点で構造的に捉えた単元のイメージ】

時間	1	2	3	4	5	6 (本時)	7	評価標準
問い	どうすれば撒菱に当たらずに前方回転移動の術を発動できる？	どうすれば撒菱に当たらず後方回転移動の術を発動できる？	どうすれば3秒間三点逆位の術を発動できる？	どの動きを意識すれば術ができるようになる？	どうすれば安定して一つ一つの術を発動できる？	どうすれば連続して術を発動できる？	どうすれば火影の技を発動できる？	評価標準
0	1. オリエンテーション 場の設定・運動の約束 火影の術を紹介 目指す姿を明確にするため 2. めあての確認 3. 忍術タイム(前方回転移動の術) 術の発動には撒菱にあたってはいけないことに気づかせるため 4. 共有タイム ・前転がりととの違いに気づかせるための教師による動画撮影 勢いをつけて回転し、両足をお尻に近づけてパッと立つことに気づかせるため 5. 試験タイム ・ケンステップの設置 真っ直ぐ回って音を鳴らさずに手をつかずに立つことができたかを 6. まとめ・ふりかえり	1. 修行タイム 2. めあての確認 術に繋げるための感覚づくり 3. 忍術タイム(後方回転移動の術) 術の発動には回転する必要があることに気づかせるため 4. 共有タイム ・後ろ転がりととの違いに気づかせるための教師による動画撮影 勢いよく後ろにお尻をつけておへそを見て回ることに気づかせるため 5. 試験タイム ・ケンステップの設置 音を鳴らさずに両手両足を回ったかをチェックし合うため	3. 忍術タイム(三点逆位の術) 術の発動には両手・頭をつけて腰を上げることに気づかせるため 4. 共有タイム ・逆位になるためのポイントを知るための教師による動画撮影 腰を上げて、頭・背中・腰が一直線になっていることに気づかせるため 5. 試験タイム ・ケンステップの設置 ・1・2・3の掛け声 三秒間静止した状態になっているかをチェックし合うため	3. 試験タイム ○前方回転移動の術 ○後方回転移動の術 ○三点逆位の術 ・ケンステップの設置 上忍になるためにはどの術ができていないかを見つけたら 4. 共有タイム ・秘伝の書の紹介 ・上忍ができる子に仙忍に挑戦 術に繋がるチャクラがどれかを理解し、どれを選べることができるか知るため 5. 忍術タイム 三つの術ができるように、チャクラを選び、修行したり術の発動を試したりするため	3. 忍術タイム ・秘伝の書 どうすればさらに術を高められるか把握し、繰り返し試すため 4. 試験タイム ・ケンステップの設置 ・一つ一つの術の出来栄を見合うための合格ポイント 撒菱に当たらず前方回転移動の術ができているか見合うため 坂道でなくても後方回転移動の術ができているか見合うため グイー・ピン・1・2・3と静止しているか見合うため	3. 忍術タイム ・次の術がスムーズに発動できているか判断するためのケンステップ 課題をが何かを明確にして、術を高めるためにどのチャクラをためるか確認するため 4. 忍術タイム ・教師による動画撮影 スムーズに次の術を行うためには術と術の繋ぎ目の着地であることに気づかせ、視点を定めるため ・最終試験 ・免許皆伝シート ・教師による動画撮影 次の術がスムーズに発動できるようになったかを判断するため	3. 忍術タイム ・秘伝の書 チャクラをためてさらにレベルの高い術に挑戦するため 4. 共有タイム 最終試験の行い方を知り、仙忍や火影になることができたかを判断するため ・最終試験 ・免許皆伝シート 仙忍や火影の術を行い、出来栄を判断し、術がどれくらい発動できるようになったかを確認するため	①仙忍系や師匠の基本的な技の行い方についてまとめた資料を用意している。 ②必ずできながら練習を上げ、体念めながら前方に回転し立ち上がることをできる。 ③技を止めながら練習を上げ、体念めながら後方で押して立ち上がることをできる。 ④頭と両手で三角形を作るように、両手を肩幅くらいに置き、頭を三角形の頂点になるようにして、頭の位置を肩に近づけるようにして上げながら足を揃えて立ち上がる。 思考・判断・表現 ①自分の技と正しい技の行い方の違いを比べて、自分の課題を見つける。 ②基本的な技ができるようになるために、活動する行い方を定めてきたりしている。 ③正しい技の行い方を知り、友達に考えたことを伝えていく。 主体的に学習に取り組む態度 ①運動に楽しんで取り組もうとしている。 ②決まりを守り周りで仲間と協力して活動しようとしている。 ③練習時間・授業の安全に気を付けて取り組んでいる。
45	まとめ 前方に、シュッ・クルン・パッで回転すると術が発動する。 目標事項 術を発動するための基本的な術の行い方を理解し、繰り返し術を試す姿	まとめ 後方にシュー・ドン・グルンで回転すると術が発動する。	まとめ 両手に力をグツと入れて、グイーと腰を上げると術が発動する。	まとめ 術に繋がるチャクラがどれかを覚えて、修行すれば上忍になれる。	まとめ それぞれの術のポイントを意識して行えば安定して術を発動できる。	まとめ どの術もビタッと着地を決めれば連続して次の技を発動できる。	まとめ 仙忍の技をさらに高めることで火影に繋がることができる。	まとめ 仙忍の技をさらに高めることで火影に繋がることができる。